

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和2年2月26日

事業所名 児童発達支援センター虹の家 放課後等デイサービス

保護者等数(児童数) 54

回収数 40

割合 74 %

| | チェック項目 | はい | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------|---|----|---------------|-----|--|---|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | | |
| 環境・体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 38 | 1 | 1 | 中学生、体の大きい子が多く、部屋が狭い。距離感など保つことが難しいのではないかと？ | ・厚生労働省の指定基準通りに確保しています。 ・他者との適切な距離感を保つことに課題がある児童も、友達と適切なかわりができるように支援しています。 |
| | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか | 35 | 5 | 0 | | ・職員配置基準通りに配置しています。男女比は今後も引き続きできる限り配慮していきます。 ・職員は保育士や教員や福祉サービスの有資格者を配置し、事業所内研修や外部の研修に積極的に参加し、月報等で保護者へも知らせるようにしています。 |
| | 3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 32 | 7 | 1 | | ・室内の段差は、出入り口のみで、全てバリアフリー化が施されています。階段も手すりを設置しています。支援が必要な子どもには、職員がついて階段を上がるようにしています。 |
| 適切な支援の提供 | 4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか | 35 | 5 | 0 | 基準、ニーズが本人は達しているのに、本人に合った課題ではない。クラスの中でも分けて、見合った課題をさせてほしい。 | 小集団活動の中で、個別の目標を職員間で共通理解し、臨機応変に対応できるようにしています。保護者と十分に話し合い目標達成した場合は、地域移行をおすすめします。 |
| | 5 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか | 36 | 3 | 1 | | ・利用児童の実態に合わせた課題活動を週ごとに内容を変えて取り組んでいます。 |
| | 6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 26 | 13 | 1 | 風の子学童とのゲーム等の交流を企画してほしい。 放デイの子どもたちは、もっと入りやすくなるのではないかと。 | ・児童クラブと園庭を共有し遊ぶ中で一緒にボールゲームしたり、長期休みは、大道芸などを一緒に鑑賞する活動を実施したりしています。今後、さらに交流を深められるように工夫します。 ・風の子園とは、月に1回、連携会議を行って、支援の共通理解を図っています。 |
| 保護者への説明等 | 7 支援の内容、利用者負担金について丁寧な説明がなされたか | 40 | 0 | 0 | | |
| | 8 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 38 | 1 | 1 | 保護者に職員が話しをする間、室内で待つことが難しい児童に対して、室内に待機する約束をする等、安全面に配慮してほしい。 送迎時の際には、その日の出来事を細かく説明していただき、悩みにも対応の仕方など、アドバイスをいただき、助かっている。 | ・事前の約束を守ることが難しい子どもについて、安全に待機できる仕組みを工夫します。 ・今後も引き続き、子どもの状況や課題など踏まえて活動の内容や様子を丁寧に説明をしたり、必要に応じて、適切な助言ができるようにしていきます。 |
| | 9 保護者に対して面談や、育児に関する助言などの支援が行われているか | 39 | 1 | 0 | 親だけでなく、児童クラブの先生にも対応の仕方など、ていねいにアドバイスしてくれて助かります。 | ・職員の専門性を高め、保護者の話しを傾聴し、必要な助言ができるようにしていきます。 ・今後も関係機関と連携を図り、子どもの発達を支援します。 |
| | 10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 26 | 10 | 4 | 保護者会はありますか？ | ・現在、保護者主催の保護者会はありませんが、年3回の保護者学習会を実施して、子供の発達や福祉について学びを深める場を提供しています。 |
| | 11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 34 | 6 | 0 | 苦情があったとは聞いたことがありません。あった場合には、内容と対応について知らせて聞きたい。 | ・苦情受付機関の周知を図り、苦情に関しては誠意をもって対応しています。 ・プライバシーに配慮しながら、必要に応じて、おたよりでお知らせします。 |
| | 12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 35 | 4 | 1 | 休み連絡の職員間で伝わっていないことがあった。 | ・職員間の連携が図れるように、必要に応じて様々な方法を工夫します。 |
| | 13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 35 | 4 | 1 | | ・月報で活動計画の周知を図ったり、連絡帳で個別の体調の把握に努めています。 |
| | 14 個人情報に十分注意しているか | 39 | 1 | 0 | | ・個人情報に関しては、今後も慎重に扱います。 |
| 非常時等の対応 | 15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 34 | 5 | 1 | 安心アプリが導入されましたが、緊急時になると、動揺して操作が上手くできないと思う。メールの活用も検討してはどうか。 | ・マチコは導入して間もないので、定期的に模擬配信等を実施することで操作方法の周知に取り組んでいきます。また、その他の緊急連絡方法についても検討します。各マニュアルについては、保護者説明会で説明し、周知していきます。 |
| | 16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 36 | 4 | 0 | | ・月に1回避難訓練を実施していることを、月報等で伝えていきます。 |
| 満足度 | 17 子どもは通所を楽しみにしているか | 35 | 4 | 1 | ・本人が楽しいと言ってます。 ・子どもは、休みたい、行きたくないといった事もなく、楽しく通っています。 | ・課題に向き合う活動で葛藤場面があり、通所をしぶることも考えられますが、保護者に活動の意図を説明し、課題を乗り越えることで楽しく通えるようになってきました。 |
| | 18 事業所の支援に満足しているか | 38 | 2 | 0 | | ・職員研修での学びや日々の振り返り、保護者や外部からのご意見等を総括し、課題を職員全員で共通理解し、来年度の療育計画に活かしていきます。 ・保護者や各関係機関との連携を深め、療育の成果を相互に確認しながら進められるようにします。 |

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。